

## 産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2024年10-12月期（概要版）〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

### 〔調査結果の概要〕

今期の調査は268社から回答があった。景況判断DIは▲8となり、前期調査から11ポイント改善した。来期の見通しは▲16となり、8ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点の回答割合は、「従業員の不足」が最も高く、次いで「修理、修繕費等の増加」、「人件費の増加」の順となっている。

以下、その他業況感DIの内訳

前期(2024年7-9月)に対して、

- ・売上高DIは13で、25ポイント改善
- ・処理量DIは12で、27ポイント改善
- ・営業利益DIは2で、20ポイント改善
- ・資金繰りDIは0で、2ポイント改善
- ・借入難易度DIは10で、1ポイント悪化
- ・設備投資DIは9で、3ポイント改善
- ・従業員数DIは2で、1ポイント改善
- ・契約単価DIは、収集運搬が9で、同水準  
処分が9で、4ポイント改善

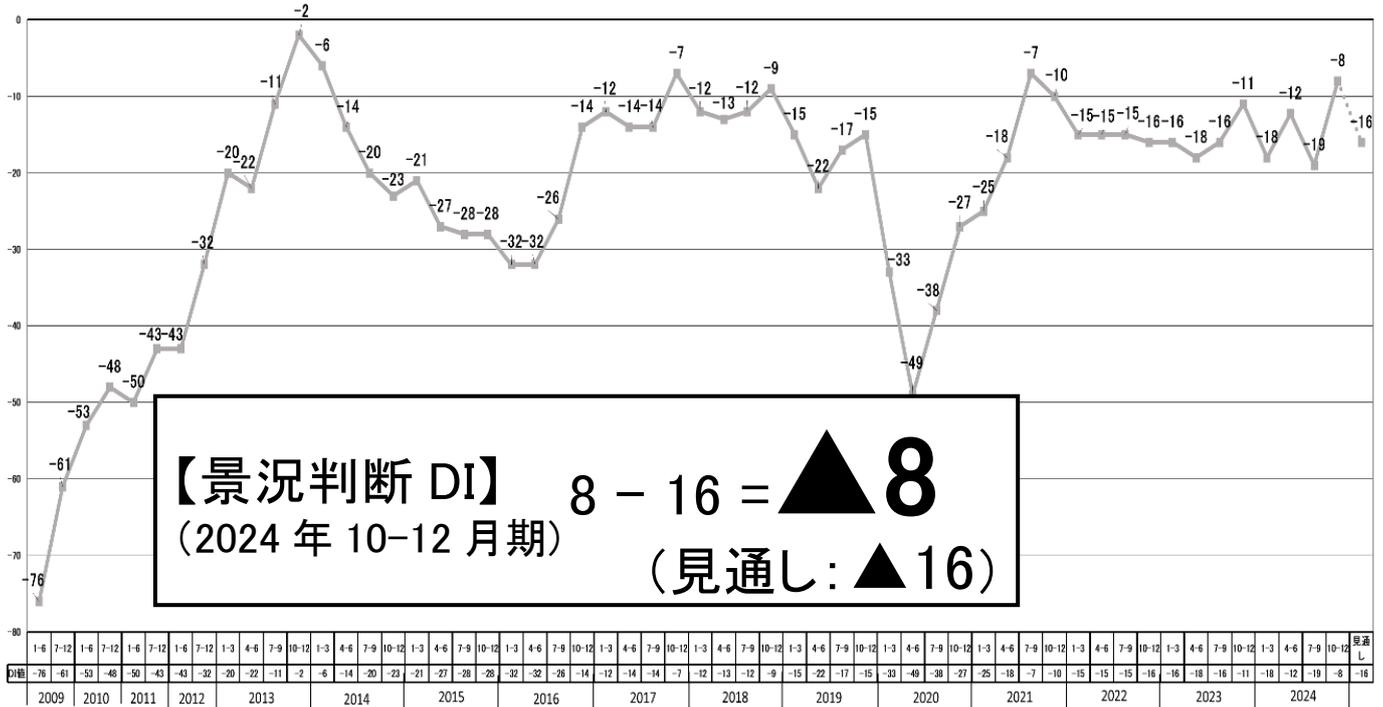
- 売上高の動向については、前年同期比で4.2%減となった。
- 処理量の動向については、前年同期比で17.7%減となった。
- 経常利益率については、前年同期比で1.8%増となった。

※DIとはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

### 〔調査の要領〕

- 全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法: Webによるアンケート
- 調査期間: 2025年1月6日～1月31日
- 回答企業数: 268社

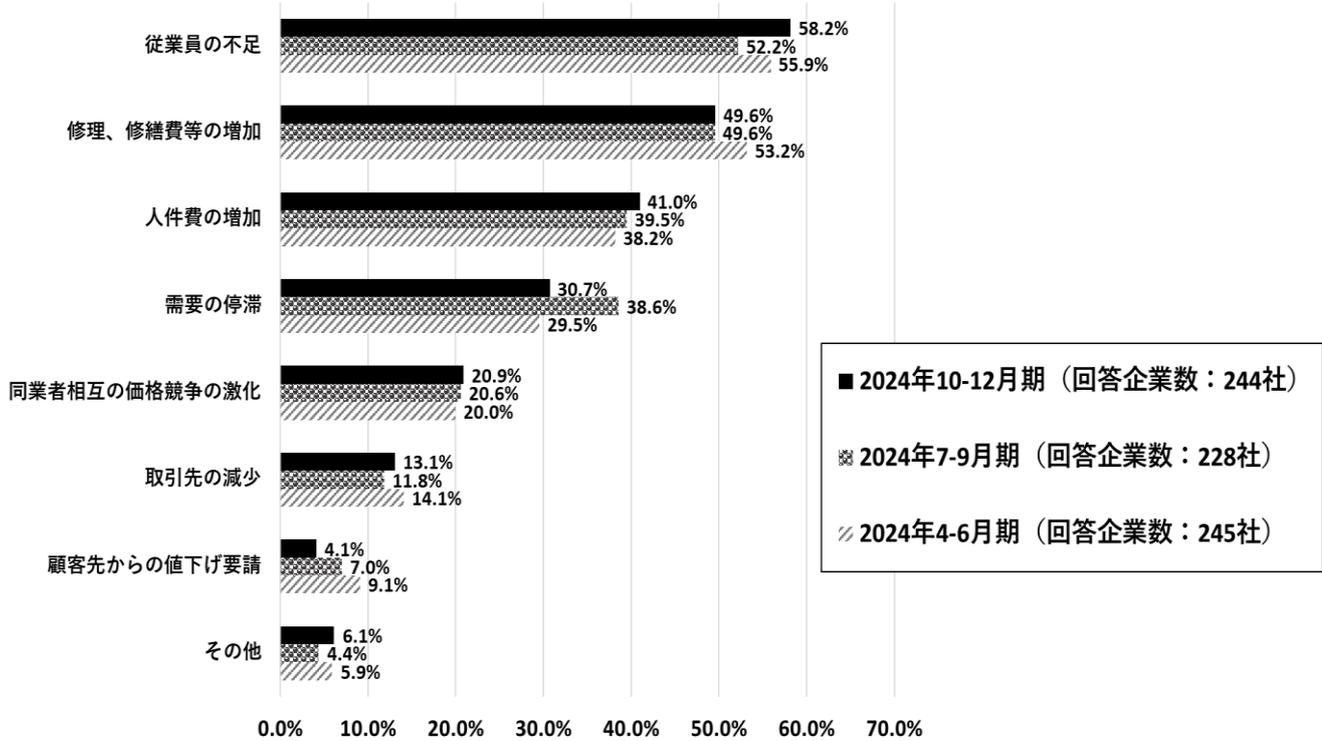
### 景況判断DI(2009年1-6月期~2024年10-12月期と見通し)



【景況判断DI】 8 - 16 = ▲8  
 (2024年10-12月期) (見通し: ▲16)

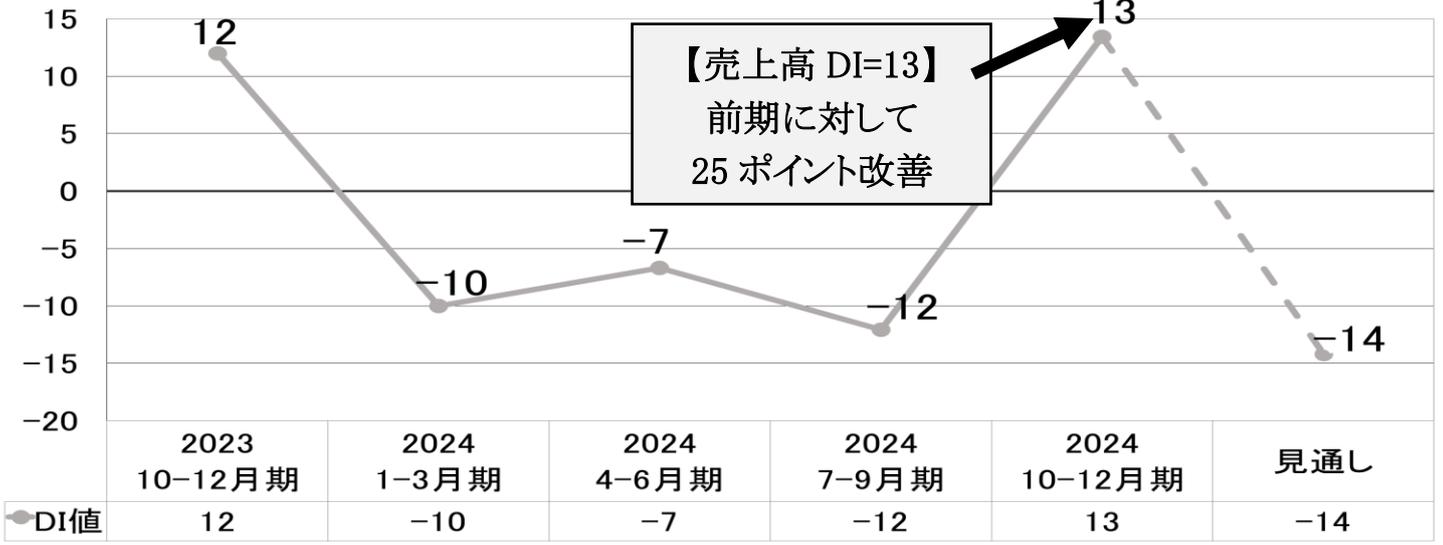
### 経営上の問題点(複数回答可)

<2024年10-12月期 (回答企業数: 244社) >



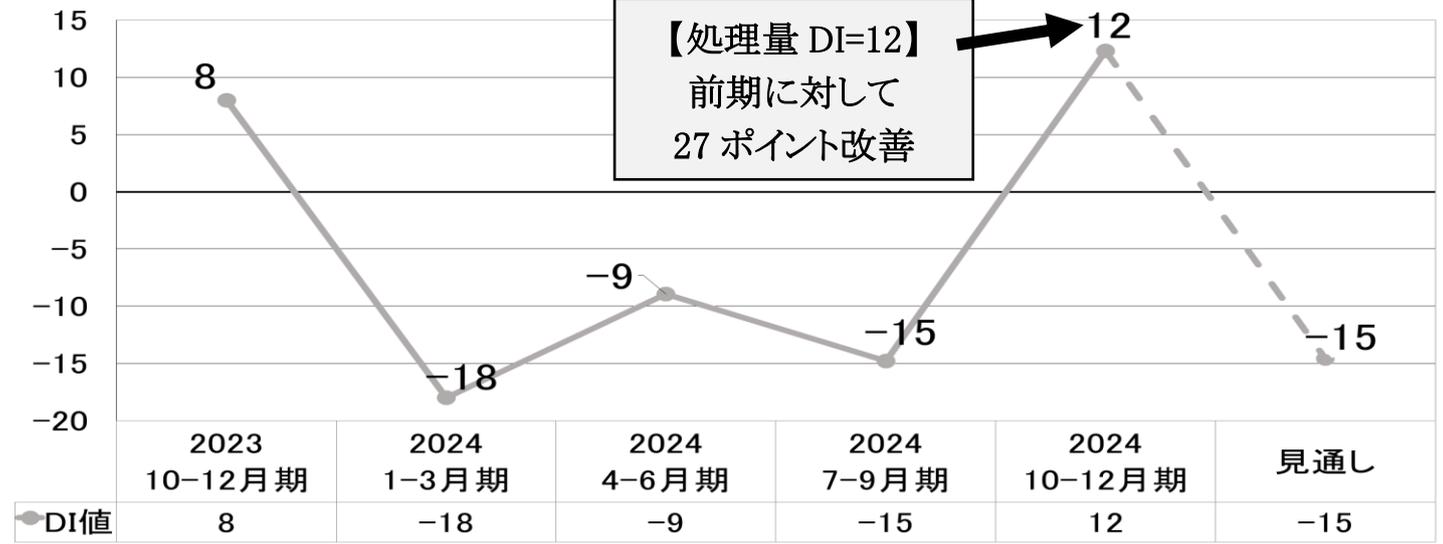
### 売上高DI

(2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)



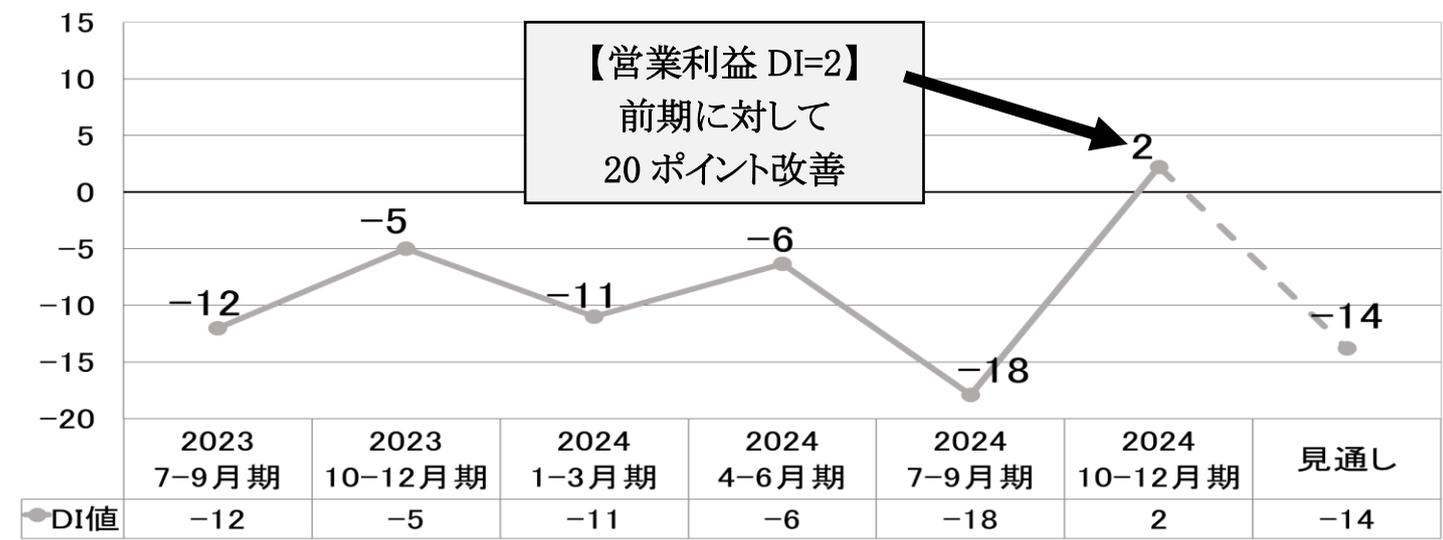
### 処理量DI

(2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)

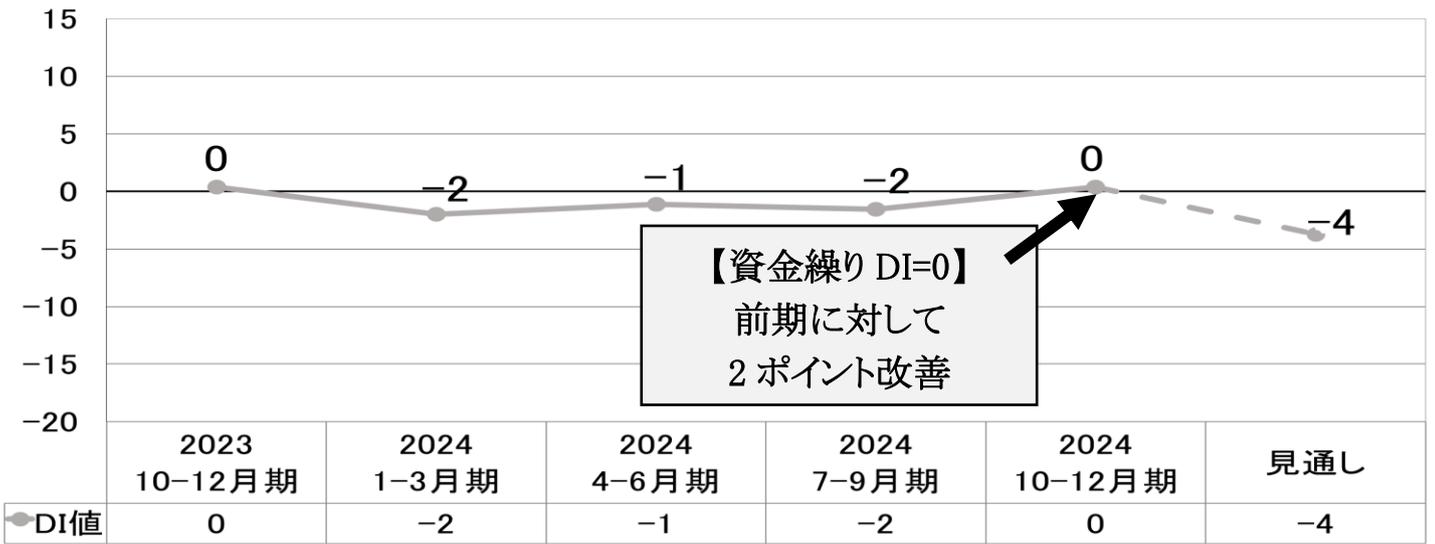


### 営業利益DI

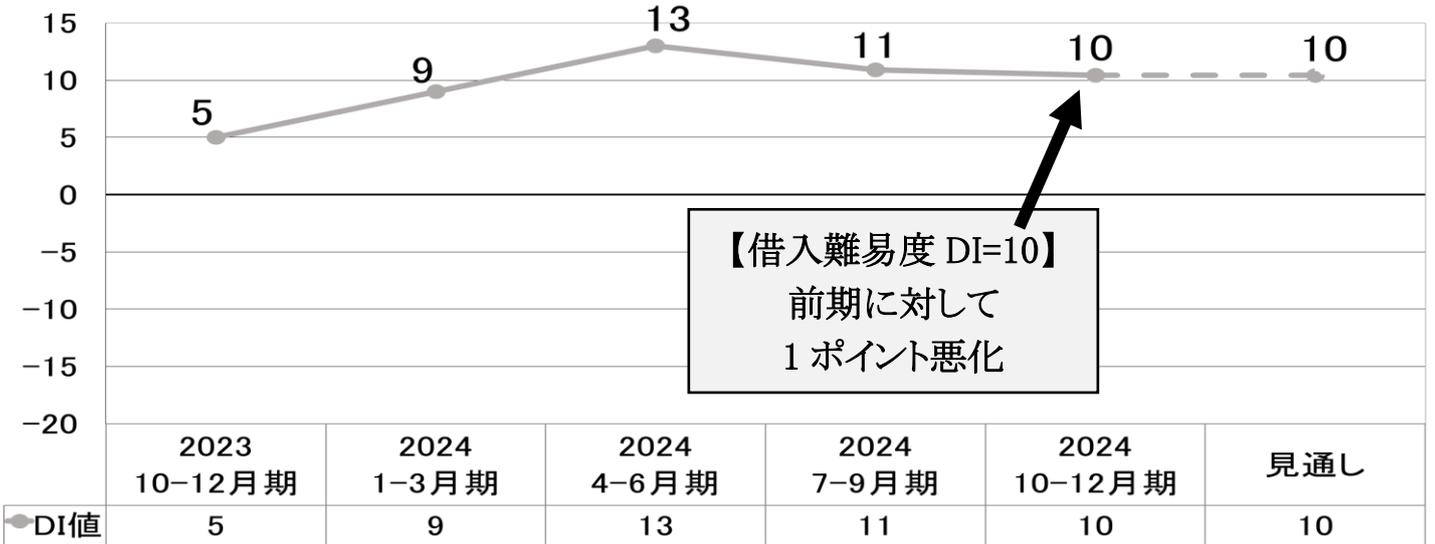
(2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)



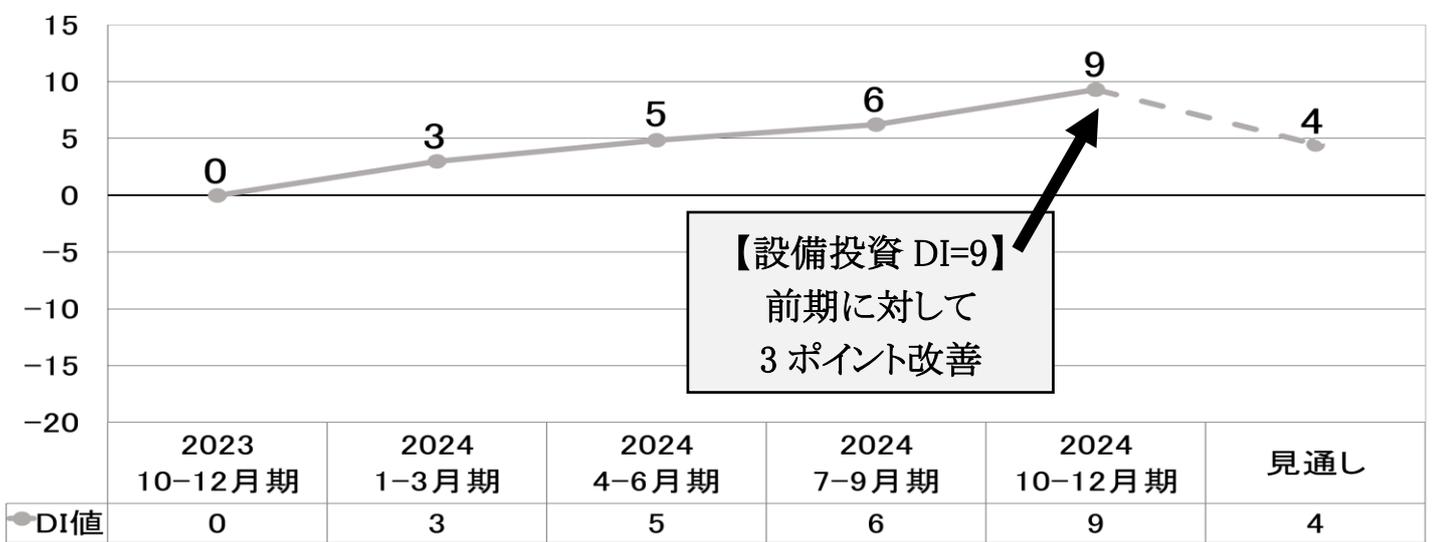
### 資金繰りDI (2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)



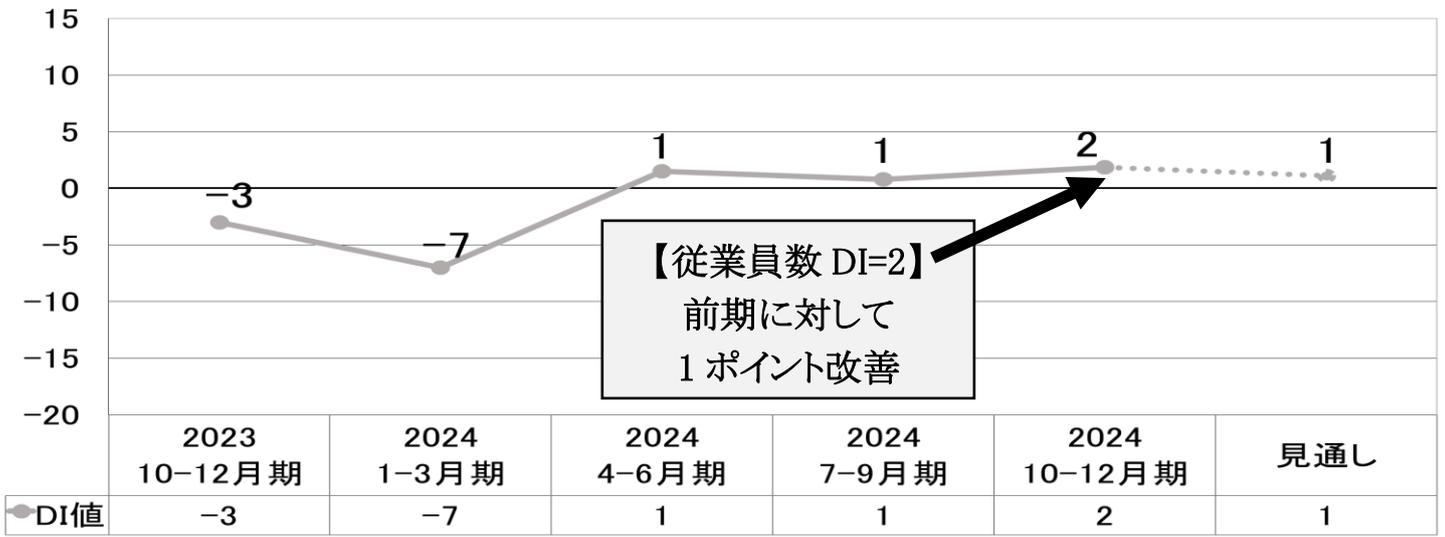
### 借入難易度DI (2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)



### 設備投資DI (2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)



## 従業員数DI (2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)



【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】

